



J.A しまねびより



SNSで旬な情報を
投稿しています



YouTube



Instagram



LINE



2026

8

August
Vol.125



特集 第12回通常総代会



J.A しまね 島根おおち地区本部版



2026

J Aしまね第12回通常総代会を6月28日（日）、
浜田市の石央文化ホールで開催しました。



今年で第12回を数える通常総代会を6月28日（日）、浜田市の石央文化ホールで開催しました。

当日は、総代定数1,000人（欠員20人）に対し、950人（書面決議、代理人出席を含む）が出席。議長団に、松本雄一郎総代（やすぎ地区本部）、伊藤孝政総代（島根おおち地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

竹下克美組合長は「令和8年度は中東情勢の不安定化など外部環境が不透明であり、コスト上昇、市場規模の縮小は避けられないと見ている。そうした厳しい情勢においても、事業利益3億49百万円、当期剰余金4億69百万円を目指し取り組む。農業振興支援事業についても、昨年度同様1億50百万円を計画している。J Aの最大の使命は地域農業の振興であり、それを実践するためには盤石な財務基盤の確立が必須条件。新たな運営体制への移行に向けては、組合員・利用者の皆様へ丁寧に説明を重ねる中でしっかりとご意見を拝聴し、合意形成を着実に図っていく」とあいさつしました。

また今回、食料安全保障の強化に向けた基本農政の確立に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

食料安全保障の強化に向けた施策の具体化を政府・与党に求めるとともに、総合事業の強みを活かした活動と事業の好循環を目指し、さらには国産農畜産物の適正な価格形成の実現へ向け、「国消国産」運動を活発に展開することを確認しました。



議長団 伊藤孝政 総代(左) 松本雄一郎 総代(右)



竹下克美 代表理事組合長

食料・農業・地域政策の推進強化に向けた 基本農政の確立に関する特別決議（案）

我が国の農業・農村においては、生産基盤の弱体化や中東情勢等に伴う生産資材価格の高騰、供給不安定、気候変動に伴う高湿障害の拡大・自然災害の多発化など、様々な課題に直面している。

食料・農業・農村基本法の改正や農業構造転換集中対策の具体化など、食料安全保障の強化に向けた取り組みが大きく前進し始めたなかで、国産農畜産物の消費者への安定供給を将来にわたり確保するためにも、水田政策の見直しなど重要政策の抜本拡充等により、生産性向上等の取り組みと、中山間地等の条件不利地における営農継続環境の整備等を加速化する必要がある。

以上をふまえ、J Aしまねは食料安全保障の強化に向け、下記の事項に取り組む。

記

1. 中東情勢の悪化により、生産資材価格の高騰や供給不安定化等の影響が生じつつある中、国民の命に直結する食料生産を維持するため、今後の情勢に応じ、燃料や肥料、飼料の価格高騰対策などセーフティネット対策の拡充と供給安定対策に向け、組織の総力を挙げて取り組んでいく。

1. 基本計画に基づく水田政策の見直しにあたっては、生産現場の理解・納得が得られるよう、この間の情勢変化をふまえて、見直しの目的や将来的に目指す姿が明らかになるよう、政府・与党に強く要請していく。

1. 消費者が我が国の食や農の実態を「認知」「理解・共感」し、最終的には国産農畜産物を選択する動機付けにつながるよう、「国消国産」を軸とし、関係機関と一体となった統一運動を引き続き展開する。

以上、決議する。

令和8年6月28日

第12回 島根県農業協同組合 通常総代会

第12回

通常総代会特集

令和7年度 事業報告

令和7年度は長引くウクライナ情勢に加え、中東情勢も悪化したことによりエネルギー供給や物流網の分断リスクが顕在化し、資源価格の高騰を招くなど、世界経済はさらに不安定な状況となっています。

国内では為替が円安基調で推移するなか、輸入原材料やエネルギーコストの上昇により企業収益や家計負担に影響を及ぼしました。加えて、猛暑の常態化・豪雨などの異常気象の発生や、令和8年1月には島根県東部を震源とした最大震度5強の地震が発生するなど、農業経営においても厳しい環境となりました。また、政府では「食料品の消費税ゼロ」について議論が展開されるなか、実際に施行された場合には、農業経営に大きな影響を及ぼすことが危惧されています。一方、近年は米価の上昇や需給の不安定化が社会的な関心を集めたこと

により、農業問題が消費者の生活に直結する形で認識されつつあります。

こうしたなか、JAグループにおいては引き続き「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合の役割発揮」の実現に向け、農業生産基盤や地域・組織・事業基盤の確立、



日高光弘 代表理事副組合長



珍部誠 代表理事専務

経営基盤の強化の取り組みを進めたほか、令和6年に改正された食料・農業・農村基本法を踏まえ、「食料安全保障の確保」「適正な価格形成」に向けた国民理解醸成及び行動変容に向けた情報発信の取り組みを進めました。

主な事業活動として、令和7

年度は、「第4次農業戦略実践3力年営農計画」の初年度として、鍵となる園芸振興、担い手確保・育成、また有機農業をはじめとした付加価値の高い、地域資源を活用した循環型農業の拡大、東・中部米集約倉庫の新設など農業生産基盤整備の拡充に取り組みしました。

取り組みの結果、販売品販売高が417億7百万円、購買品供給高が295億76百万円、貯金残高が9,867億13百万円、貸出金残高が2,919億57百万円、長期共済保有高2兆5,480億25百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は13.82%となりました。

収支面については、事業利益が11億10百万円、経常利益は17億49百万円となり、当期剰余金は9億86百万円となりました。

貯金残高	9,867億13百万円
貸出金残高	2,919億57百万円
長期共済保有高	2兆5,480億25百万円
自己資本比率	13.82%
事業利益	11億10百万円
経常利益	17億49百万円
当期剰余金	9億86百万円
販売品販売・取扱高	417億7百万円
購買品供給高	295億76百万円

【議案】

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 令和7年度事業報告及び剰余金処分案について
- 第2号議案 令和8年度事業計画の設定について
- 第3号議案 令和8年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
- 第4号議案 令和8年度における理事の報酬額の決定について
- 第5号議案 令和8年度における監事の報酬額の決定について



令和8年度 運営方針・事業方針

指導事業

農業振興

「第4次農業戦略実践3力年営農計画」の2年目として、農業振興・営農指導、担い手育成支援等各部门で掲げる施策や指標の取り組みを通じて、生産基盤の維持・拡大に取り組みるとともに、「農業所得の増大」「安全・安心な地域農畜産物の安定供給」を実現することで、食料安全保障の貢献に努めます。また、コストに見合った適正な価格形成がなされるよう、生産者の再生産価格の確保に努めます。

持続可能な地域農業を実現するため、環境保全型農業を推し進め、「有機農業の生産・販路・販売拡大」、「GAP（農業生産工程管理）の普及」、「堆肥の利用促進」、ICT技術（ドローンやセンサー等）を導入した効率的な施肥や水管理、作物の生産性向上につながる取り組み、また深刻化する異常気象に対応した品種の導入や栽培技術の確立など、農業者、行政一体となって推進します。

また、農業者の高齢化や後継者の減少に伴う労働力不足に加え、依然として生産資材価格が高止まりしている状況に

対応すべく「コスト低減」につながる取り組みを担い手目線で取り組みます。



重点実施事項

- ① 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営支援
- ② 農業労働力の確保と育成
- ③ 出向く態勢の構築と営農活動支援
- ④ 次世代総点検運動を通じた地域農業（産地）振興計画の策定と実践
- ⑤ 島根県農協青年組織協議会の盟友拡大とJA事業運営への参画機会の増大
- ⑥ JAしまね農業振興支援事業の継続実施
- ⑦ 営農指導強化による生産振興
- ⑧ 島根県農産物の安全・安心への更なる取り組み
- ⑨ 労働力軽減に向けたスマート農業の導入検討

くらしの活動、広報活動、地域貢献・地域活性化

地域特性を活かした活動を展開し、地域貢献や地域活性化事業を強化します。また地域に根差した活動を通じて、組合員地域住民の連携強化を促し、地域活性化に取り組みます。

「国消国産」の理念に基づき、地元農畜産物の魅力を広めるためのPR活動を強化し、消費者に地元産品の良さを理解してもらうとともに、地域農業を支える意識の醸成を図ります。

また、次世代層に向けた情報提供とタイムリーな情報を発信するため

に、紙媒体とデジタル媒体を併用して、より効果的なコミュニケーションを図り、JAの活動が地域に根付くことを目指します。

販売事業

農業戦略実践3力年営農計画に掲げた調和型農業（有機農業）の普及・実践、需要に応じた米生産・集荷・販売強化、品質向上による畜産物産出額の維持拡大、酪農経営向上など作物別の施策を通じて、持続可能な農業への構造転換を推進するとともに、安全・安心・高品質な農畜産物の安定生産・安定供給に取り組み、地域の発展に寄与していくことを目指します。

購買事業

生産資材

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、新たな運営体制において「地区本部の地域密着性」と「事業本部の専門性・効率性」を両立させるため、物流改革や資材店舗改革、EC取引による効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

生活購買

自動車燃料事業については、経営効率化や人材確保、職員の専門性強化を図り、将来的な地域インフラの維持と

組合員サービスの向上を目指すため、直営事業の事業本部制等による県域一体化に向け、協議・検討を進めます。

信用事業

持続可能な島根の農業と豊かでくらしやすい地域共生社会を実現するため、農業・くらし・地域の多様なニーズに対して、JAしまねの総合事業性を活かした金融仲介機能を発揮し、将来にわたって支持・期待されるJAを目指します。

共済事業

組合員・利用者には選ばれ続ける存在となるため、対面接点やデジタル技術を活用した接点づくりに取り組み、3Q活動を起点とした情報提供活動を展開していきます。あわせて、組合員・利用者へきめ細やかな保障点検と、ニーズに応じた保障・サービスの提供を行うことで、組合員・利用者の豊かな生活づくりへの貢献に取り組みます。

※令和8年度事業計画より一部抜粋
令和7年度実績や令和8年度事業計画の詳細などは、JAしまねホームページ掲載の通常総代会資料をご覧ください。

総代会資料
はこちら



功労者表彰名簿

〈令和7年6月退任の皆様〉

第12回通常総代会開催にあたり、島根県農業協同組合の役員として運営、発展等にご尽力を賜りました退任役員の皆様方を讃え、功労者表彰を行いました。

表彰者名	在任時の役職	選出地区等
故 石川 寿樹	(代表理事組合長)	本店
故 山根 盛治	(代表理事副組合長)	本店
田中 徹	(常務理事)	本店
古川 敬	(理事)	本店(青年)
高橋美佐子	(理事)	本店(女性)
三島 明美	(理事)	本店(女性)
寺本美貴子	(理事)	本店(女性)
菅井 一	(理事)	くにびき
藤原 政文	(理事)	雲南
戸田 雅之	(理事)	雲南
蛭子 郁夫	(常務理事本部長)	隠岐どうぜん

表彰者名	在任時の役職	選出地区等
藤江美由紀	(理事)	出雲
小村 伸治	(理事)	出雲
高野 智子	(理事)	出雲
山根 善治	(常務理事本部長)	斐川
青木 広幸	(理事)	斐川
三上 博通	(理事)	島根おおち
藤若 将浩	(理事)	いわみ中央
田村 清己	(常務理事本部長)	西いわみ
黒谷 幹雄	(代表監事)	中部
三島 滋夫	(監事)	東部
倉橋 英二	(監事)	西部

(敬称略)

(故 山根盛治様は令和5年10月退任)



第12回総代会 Q&A



質問 【業績還元に関する質問】 配当率の引き上げは歓迎するが、増分の一部は利益貢献度の高い地区本部への配分に充ててほしい。かつて1億円あった業績還元が直近では4,700万円まで落ち込んでいる。利益貢献している地区本部の不満を解消するため、次期以降は1億円規模の水準へ戻すよう要望する。

回答 JAとして、出資配当、事業分量配当、地域還元の3本柱を重視しており、令和7年決算では検討の結果、1.25%を出資配当として実施しました。業績還元は、組合員への還元として出資配当に並ぶ重要なものであり、現在より増額できるよう、事業利益確保に向けて事業改革を進めていきたいと考えています。

質問 【農林中央金庫に関する質問】 2024年に起きた農林中央金庫の巨額赤字問題について、これほどの大損失は農協への還元額を減らし、組合員経営を圧迫する重大な問題である。今後は各農協が丸となり、農林中央金庫の経営を厳しく監視し、言うべきことは言う姿勢を貫く必要がある。

回答 農林中央金庫においては、令和7年度、1千2百億円の黒字決算を達成し、財務の立て直しは図られたものの、評価損が残存しているため、今期も無配という結果に至っています。黒字でありながら配当ができない現状に対し、JAしまねをはじめ各組織は、全国会議等で復配を強く求めています。また、農林中央金庫法の改正により外部から2名の理事を登用するなど、経営体制の刷新も進められています。

今後も農林中央金庫の経営高度化に向けた動きを注視し、引き続き一日も早い復配を求めてまいります。

質問 【米価に関する質問】 令和8年度の米価に対する不安が農家間で募っている。米価が大幅に下落すれば、高齢化が進む中山間地域の農業は維持困難になる。営農指導員が減る現状で、農家を支援する体制も危機的だ。消費者に価格転嫁の必要性を広くPRし、8月の概算金は最低でも1万円/30kgを下回らないよう切に願う。政府の施策と連携しながら農林水産省へも働きかけ、農村を守るためにJAが力を発揮してほしい。

回答 令和8年産の概算金については、8月理事会での決定に向けて取り組んでいます。過去最高水準の民間在庫量、販売進度の低迷等、厳しい状況ではございますが、米のコスト指標である60kg当たり20,535円を目指し交渉を行ってまいります。また、島根県と連携し、備蓄米の買戻しについての要望活動も行なってまいります。

営農指導員につきましては、新たな運営体制を検討する中で組合員の皆様の要望に応じてまいります。

この他にも
多くのご意見を
いただきました。



©よい食P



水稲生産者大会開催 水稲新品種の名称「つぶきらり」に

島根県と島根県農業振興協会、JAしまねは7月13日、出雲市のビッグハート出雲で令和8年度水稲生産者大会を開きました。大会では島根米新品種「島系84号」の名称を「つぶきらり」に決定したことを発表しました。当JAの竹下克美組合長は、この「つぶきらり」について「島根を、日本を代表するお米となるよう、JAでしっかり取り組んでいく」と意気込みを語りました。

高温に強い「つぶきらり」は、夏季の高温による品質低下への対策として育成され、多収で倒伏しにくく、粒が大きく良食味といった特性があります。名称は4551点の応募の中から選ばれ、名称考案者の福田しのぶさんには、石原恵利子副知事から記念品が贈呈されました。令和10年産から本格的に栽培される予定です。

大会には、生産者、県、JA等の関係者らが参加。基調講演では月刊食糧ジャーナルの鶴田裕編集部長が「品種動向と産地戦略」と題し米の販売戦略について語りました。



新品種「つぶきらり」に決定



「日本の農業どこへ行く」 組合長が島根大学で講義

JAしまねの竹下克美組合長は7月6日、島根大学で学生向けに出前講座を開き、農業の現状や協同組合の役割を通じて地域農業の担い手確保を呼びかけました。

講座には生物資源科学部の学生ら約70人が参加。前半ではJAしまねの有機農業の取り組みや事業概要を紹介し、後半には竹下組合長が「日本の農業どこへ行く」と題して登壇しました。昨今の「令和の米騒動」や米の概算金決定の仕組みなどについて詳しく解説しました。

現場の課題に対する学生からの関心は高く、質疑応答では積極的な意見が相次ぎました。受講した学生は「価格決定の仕組みや地域の農業を支えるJAの機能が理解できた」と話しました。

当JAと島根大学は令和5年2月に包括的連携協定を締結。今後も大学との連携を深め、農業の振興と地域社会の発展につなげていきます。



講義をする竹下組合長



生協しまねと意見交換 米集約倉庫も見学

JAしまねは6月24日、生協しまねの理事の皆様を招き、JAしまね東中部米集約倉庫の施設見学会と意見交換会を実施しました。この取り組みは、生産者組織であるJAと消費者組織である生協がそれぞれの視点で意見を交わし、食と農、地域社会の維持と発展のために連携できることを模索する目的で行われたものです。JAからは竹下克美組合長、米穀園芸部の西尾一俊部長らが参加しました。

見学会では、今年3月に完成したばかりの米倉庫を視察し、物流の効率化の重要性等を説明しました。意見交換会では昨今の米価高騰を中心に、双方から多くの質問や率直な意見が寄せられました。

生協しまねの安井光夫理事長は「JAと協力して取り組めることはたくさんあると実感した。今後も継続的にこういった機会を設けていくことが大切だ」と話しました。



米集約倉庫の見学会を実施

JALまね

島根米

まんぷく フェスタ

2026

お米1人
争奪戦!!

2026

9.20 日

10:00 → 15:00

くにびきメッセ

大展示場(松江市学園南1丁目)

詳細は
JAしまねInstagramにて
随時発信していきます
右の二次元コードからアクセス!

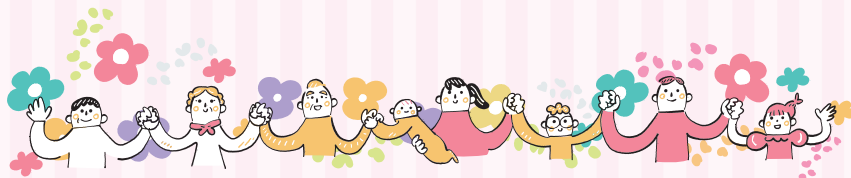
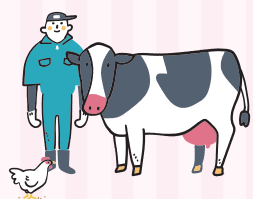


あなたの1票で
ご飯のおとも

No.1が決まる!

メシトモ
GP

開催



「元気な地域」を女性部の力で!

島根おおち女性部

JA女性組織3カ年計画

「『あい♡』からはじまる『元気な地域』をみんなの力で」の実践2年目です。

★助けあい♡ ★学びあい♡ ★育てあい♡

の3つの重点テーマを掲げ活動します。

島根おおち女性部では、瑞穂、羽須美、石見、川本、桜江の5支部とフレッシュミドルミズ部会幸せのたねたんぽぽが、食農教育や国消国産活動、研修会などに積極的に取り組んでいます。

女性部独自の活動として、夏期に行う研修会があります。今回は、詐欺防止と「家の光」記事活用をテーマに行いました。島根県警察川本警察署と地元の田所、出羽駐在所にご協力いただき、詐欺防止についてお話を聞いたほか、「家の光」記事活用では、部員が講師を務め「チョウと花のチャームバンド」を作りました。

また、冬期には、15年前から「わが家の味つけものコンテスト」を開催しています。今年も2月に開催する予定でしたが、前日に大雪が降り中止となりました。しかし、石見支部では14品のエントリーがあったことから、急遽、有志11人が集まり持ち寄り会を行いました。森光美佐子部長も駆けつけ「家の光」記事から「刻みマイタケとのりのみそ汁」を振舞いました。

島根おおち女性部は、これからも研修などを通して相互研鑽に努めていきます。

★学びあい♡



一所懸命青年連盟

JA YOUTH

JAしまね隠岐青年連盟

JAしまね隠岐青年連盟は、会員12名（令和8年4月1日現在）で高宮武士委員長のもと米・畜産・野菜などの生産者が盟友として活動しています。

食農教育活動では、農業や食に関して興味を持ってもらえるよう町内の小学校で出前授業を行い、自らの声を直接子どもたちに届けています。

また、昨年度は町内のイベントにて隠岐の島町内で栽培されているお米の品種当てクイズを行い、普段食べているお米と違う品種を食べてもらうことでお米の品種による違いなどを感じてもらえるようなブースを設置し、多くの方に地場製品のPRを行いました。

今後も農業を通じた活動や交流の場に積極的に参加し、地域の活性化に貢献していきます。



地産地消に取り組み、農業を通じて、地域に貢献していきたい

石灰資材で酸性土を矯正する

ホウレンソウはビタミンやミネラルを豊富に含む緑黄色野菜です。特に日本人に不足しがちなビタミンB群（中でも造血作用に関係する葉酸）や鉄分、カリウムを多く含んでいます。

冷涼な気候を好み、生育適温は15～20度です。耐寒性は強いものの暑さには弱く、25度以上になると生育が衰えてしまいます。関東以西の地域では、夏取り以外は栽培が容易で、特に冬取り（2、3月収穫）のホウレンソウは栄養価が高く、甘さも増しておいしいです。

【品種】

秋取り（10、11月収穫）では、生育の良い「アトラス」（サカタのタネ）、「福兵衛」（タキイ種苗）など、冬取りでは寒さに強い「クロノス」（サカタのタネ）、「伸兵衛」（タキイ種苗）などが良いでしょう。

【畑の準備】

ホウレンソウは酸性土を嫌います。土壌が酸性になると土壌中のアルミニウムが溶け出し、これが根の伸長を抑制するといわれています。そのため、アルカリ性である苦土石灰をまいて酸性土を矯正しましょう。

事前に1平方m当たり苦土石灰150gを畑全体に散布して、よく耕しておきます。次に、1平方m当たり化成肥料（NPK各成分10%）200gと堆肥2kgを土とよく混ぜて、幅100cm、高さ5～10cmの栽培床を作ります。

【種まき】

適期は9～10月です。栽培床は平らにならし、条間20cm、深さ1、2cmのまき溝を切ります。このとき、園芸

栽培カレンダー（ホウレンソウ）

気候帯	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
冷涼地		●	■	■				
中間地		●	■	■				
暖地		●	■	■				

● 種まき ■ 生育 ■ 収穫

用支柱などを土に押し付けて平らなまき溝を作ると良いでしょう。その後、1cm間隔に種まきします（図1）。

種まき後は約1cm覆土をして、たっぷり灌水（かんすい）します。そして、不織布のべたがけをして風雨や害虫から幼苗を守ります（図2）。

【間引き・追肥】

1回目の間引きは、発芽がそろったときに込み合っている所を抜き取ります。その後、2、3回に分けて間引きをして、最終的に株間4、5cmにします（図3）。

栽培期間が長くなる10、11月まきでは、草丈10～15cmの頃に1平方m当たり化成肥料30gを追肥し、株元に軽く土寄せします。

【病害虫防除】

ヨトウムシは見つけ次第捕殺し、アブラムシは、登録農薬で防除します。ただし、生育初期は不織布をべたがけして飛来を予防すると良いでしょう。

【収穫】

株間が広い（疎植）と、どの葉にも光が当たるように広がり（開帳性）、反対に株間が狭い（密植）と葉は細く、立ち上がった草姿（立性）になる傾向があります（図4）。

草丈25cmを収穫の目安にしますが、30cm程度になってもホウレンソウ本来のおいしさは変わりません。

株元の根を鎌やはさみで切り取り、枯れ葉を除いて300gくらいを目安に束ねます。

図1 種まき

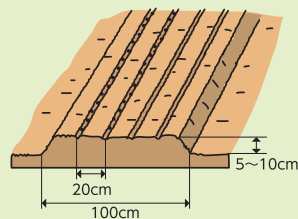


図2 ベタがけ

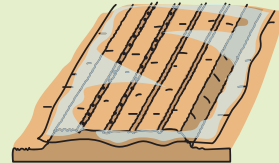


図3 間引き

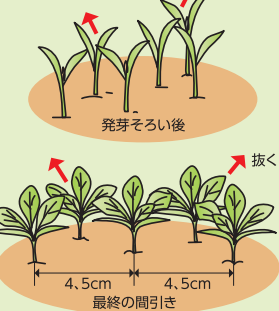
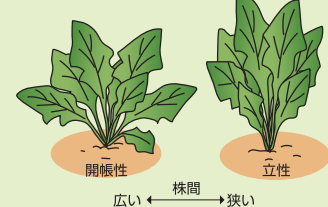


図4 収穫



「ベランダでも育てられる みんなのコンテナ菜園」をJAしまねホームページで連載中です。今月は「ソラマメ」!

理事会情報（7月29日開催）

- ①JAしまね安全・安心な農産物づくり運用規程および協定書の改正について
- ②令和9年度 島根県農業政策及び予算に関する要望について（第1次）
- ③新たな渉外管理・指導、渉外体制の策定について
- ④「支店・ブロックの機構改革」等について
- ⑤「統括支店職員を本店職員扱いとする人事異動」のすすめ方について
- ⑥「管理部門集約のすすめ方」の一部変更について
- ⑦令和8年9月1日付 機構改革の実施について
- ⑧ディスクロージャー誌2026について
- ⑨「新たな運営体制」における職制規程別表の見直しの考え方

と方向性について

- ⑩「新たな運営体制」を踏まえた「子会社管理の方向性」について
- ⑪令和8年度におけるマネロン等の防止にかかる対応について
- ⑫組合と理事との取引状況について（定期承認分）
- ⑬コンプライアンス・マニュアルの改正について
- ⑭大口貸出金の承認について
- ⑮総代選挙実施にかかる選挙管理者・選挙立会人等の指名について
- ⑯常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑰新退職年金共済 財政再計算の試算結果および定年延長に伴う企業年金規約変更手続きについて
- ⑱令和7年度決算監事監査報告書 整備改善を要する事項（個別意見）への回答について

令和8年度 島根おおち地区本部 総代説明会

6月19日に島根おおち地区本部総代説明会を、邑南町田所公民館で開催しました。

事業報告

令和7年度は、長引くウクライナ情勢に加え、中東情勢も悪化したことによりエネルギー供給や物流網の分断リスクが顕在化し、資源価格の高騰を招くなど、世界経済はさらに不安定な状況となっています。島根県内の農業情勢においては、猛暑の状態化・豪雨などの異常気象の発生や、令和8年1月に発生した最大震度5強の地震により各地の農業生産に大きな影響を与えました。

島根おおち地区本部の主な事業活動と成果としては、令和7年度は、第4次中期経営計画の初年度として引き続き、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現を目標に掲げ、事業本部的運営を基軸とした新たな体制の見直しを含む改革に取り組んでまいりました。また、持続性のある事業運営を目指した取組みとして、9月の統括支店と瑞穂支店の統合及び令和8年3月の営農部と生活部の統合による営農経済部を新設する機構改革を実施しました。営農事業では、特別栽培米「石見高原ハーブ米」及び「つや姫」の生産拡大と販売強化に向け、SNSを活用した情報発信に合わせ、休日の水稻栽培講習会の開催により、さらに営農に取り組みやすい環境づくりに努めました。

園芸品目は、「白ネギ」「ミニトマト」「ブロッコリー」「たまねぎ」の栽培面積拡大及び販売高向上に取り組みました。また、リースハウス事業の継続活用による「ぶどう（神紅（しんく））」のハウス面積が合計で457a（47棟）となり、産地化と販売高向上を目指した栽培指導に継続して取り組みました。

畜産事業では、畜産総合センターを活用した農家支援と繁殖雌牛の増頭・更新支援を行い市場出荷頭数の拡大に取り組みました。

生産購買事業では、TACと連携した低コスト肥料品目提案による、農家の所得向上に取り組みました。またジュンテンドー川本店と連携し品揃えの充実に取り組み、組合員の利便性向上を図りました。生活購買事業では組合員との対話活動の一環として、展示会を開催しました。また営農部と連携し農業者の所得増大を目的に、管内の農畜産物・加工品を贈答品「旬のふるさと味覚便」「味の絆」として販売拡大に努めました。正組合員メリットとして除草作業応援券を配布し農業用燃料の割引と除草関連資材の安価供給を実施しました。

販売事業では、米の一等米比率が68.1%となり、前年を8.6%下回り、集荷数量は71,797袋となりました。

信用事業では、ネットバンク・JAバンクアプリ等、利便性の高い金融サービス

の展開により新たな利用者の取引拡大に努めました。

共済事業では、3Q活動を軸とした情報提供活動をLA（ライフアドバイザー）と支店担当者（スマイルサポーター）が双方の連携による取組みにより、「ひと・いえ・くるま」の総合保障に対し「安心」と「満足」の提供を行いました。

島根おおち地区本部の最終決算状況は、事業利益6千712万円、経常利益10千152万円、当期剰余金3千787万円でした。

総代説明会 Q&A

Q 出資配当率を1.25%で行うことは良いことだと思うが、利益の分配については、職員数の減少や物価高の影響も踏まえ、JA職員の給与を上げること、また、社会貢献活動の活動費に充てるということも考えてほしい。

A 定期金利が1%を超える商品もあり、昨年度の出資配当率0.75%に対し、多くの意見をいただきました。

協同組合として利益の分配は組合員に対し、出資配当という形で行うこととしています。利益が出た限りは、金利ある情勢に応じた形で1.25%の配当を提案するところです。

JA職員への分配は、全国的に賃金が上がっている中で、昨年には、新人事制度を導入し、初任給を上げさせていただきました。今後は、計画的に新人事制度に沿った形で待遇改善に向けて検討を進めます。

社会貢献活動は、これまで行ってきました、県内の学校給食用に新米を寄贈する活動など、今後も継続できるものは限りなく継続実施をする形で進めていきたいと考えます。

Q 農林中央金庫の経営状況はどうなのか。また、この先、配当は行えるのか。

A 令和6年度は、大きな赤字となりましたが、令和7年度は約1,200億円の黒字決算となりました。しかし、それは単年度の事業利益であって、未だ有価証券評価損を計上する状態で、令和7年度決算における配当は困難な状況であると、会員である私どもは説明を受けています。JAとしても1日も早い再生・復帰を期待しています。



JA 島根おおち青年連盟と女性部は、JA 職員らとともに地元食材のおいしさを伝える食育イベント「愛菜カレーの日」を管内 13 の保育所（園）で実施しました。

各保育所（園）を訪問してカレーと一緒に作るこのイベントは、平成 20 年から続いており今年で 19 年目を迎えました。島根おおちブランドの「石見高原ハーブ米」、「石見和牛肉」のほか、管内産の白ネギ、ピーマン、トマトなど約 10 品目の食材を持ち込み、園児と一緒に野菜を切ってカレーを作り、薪でお米を炊いたり、カレーができる合間に野菜のクイズや紙芝居をしたりと思い思いの楽しい時間を過ごしました。また今年は、川本町の各保育所に同町を拠点とする社会人女子硬式野球クラブ「島根フィルティーズ」の選手の皆さんが参加してくれました。食材の中のピーマンは、フィルティーズの選手が 5 月に定植し、収穫したものを使用しました。「ピーマンの種がない！」「クイズが楽しかった！」「美味しかった！」「おうちでもお手伝いする！」などのうれしい感想も聞かれました。

青年連盟と女性部、島根おおち地区本部はこれからも食農教育を基軸に食べ物を作ることの大変さや食べることの大切さを伝え「愛菜カレーの日」のみならず有意義なイベントを企画してまいります。



令和 8 年度 JA 出荷米の休日受入日について

月	8 月		9 月											10 月				
日	29	30	5	6	12	13	19	20	21	22	23	26	27	3	4	10	11	12
曜日	土	日	土	日	土	日	土	日	月	火	水	土	日	土	日	土	日	月
受入対応時間	午前中（8:30~12:00）																	
事業所名	瑞穂事業所		○		○			○		○		○						
	羽須美事業所	○		○		○			○									
	石見事業所	○		○		○		○		○			○					
	川本事業所	JA 休業日の米受入対応は行いません																
	邑智事業所		○		○		○					○		○		○		
	大和事業所	JA 休業日の米受入対応は行いません																
	桜江事業所												○		○			○

【お願い】

- ※ JA 休業日の米受入対応は上記表の○印のみ対応致します。
- ※ 受入対応時間は午前 8 時 30 分から、お昼 12:00 までとなります。
- ※ JA 休業日に米の持込みを希望されます方は、事前に事業所までご連絡をお願い致します。（事前連絡が無い場合は職員対応ができないことがあります。）

【ライスセンターからのお願い】

※ ライスセンターでは休業日を導入して業務を行ってまいります。各ライスセンターの休業日は事業所とライスセンターの店頭に掲示していますのでご確認の上、ご利用いただきますようお願い致します。

【庭先集荷について】

※ 米の集荷は、邑智トラック事業協同組合に委託しています。集荷まで時間をいただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

7/6

魅力発見！邑智郡 農業・塾「視察編」

邑智郡農業士会（月山正幸会長）は、ＪＡしまね島根おおち地区本部や県西部農林水産振興センターなどと連携し、魅力発見！邑智郡農業・塾「視察編」を行いました。矢上高校と連携して同校産業技術科１年生３１名を対象とし、「邑智郡の農産物と生産者、生産現場／流通をみちやろー！きいちゃろー」と題し、地域農業学習として管内の生産現場と流通の視察を行いました。

最初に、邑南町アグサポ隊研修農場でブドウの島根県オリジナル品種「神紅」の栽培について年間の作業を学び、続いて生産者の片山証さんの白ねぎ圃場を見学し、片山さんは「自然の力と新しい技術の両方が大事、ＡＩを活用し栽培管理ができることで省力化に繋がります、緑肥を活用することで土が元気になる。今やっていることが必ず未来に繋がります、やりがいのある仕事」と農業の魅力について話しました。午前中の最後は、道の駅邑南の里の産直施設の見学を行い、生産者から栽培された商品が消費者へ渡る過程を学びました。

午後は、原村の邑南町農林水産物集出荷貯蔵施設でＪＡの担当職員から集出荷場の役割について説明を聞き、生産者から出荷された米、野菜の流通への流れを学んだあと邑南町口羽地区へ移動して、（合）夢ファーム口羽（谷岡良昭代表社員）においてドローン、ラジコン草刈り機などのスマート農業機械について説明を受けたあと、水稻に関連した農業機械の乗車体験を行いました。

この日は時おり雨が降るなど不安定な天候でしたが、生産者が栽培した米や野菜が消費者へ渡る過程にはさまざまな作業があることを視察を通して学び、邑智郡の農業について魅力を感じてもらう機会となりました。



7/6

魅力発見！邑智郡農業・塾 「昼食編」

島根おおち女性部（森光美佐子部長）は、今年も邑智郡農業士会（月山正幸会長）が主催し、島根県立矢上高等学校１年生３２名を対象に行われた「魅力発見！邑智郡農業・塾」において、昼食作りを担当し島根おおち管内で採れた農作物を使用した「ライスバーガー」をふるまう「昼食編」を行いました。

バンドに石見高原ハーブ米コシヒカリ、具材には、石見和牛肉、ごぼう、トマト、玉ねぎ、レタス、キュウリ、卵を使用し、隠し味にはジャガイモを使ったソースを入れました。また、ふかしジャガイモ、生野菜サラダ、「家の光」の記事を活用した一品飛鳥汁も一緒に提供しました。また、管内で広く栽培している、「広島菜」の受入れ先の株式会社山豊より漬物の提供がありました。

森光部長は、「作る工程を楽しんで。管内産の食材を存分に味わってほしい」とあいさつしました。今年も「ライスバーガー」の仕上げる工程を生徒の皆さんに体験してもらい、「これ全部入れるの？」「わっ！崩れる！」などと声を上げながら楽しんでいました。

生徒たちは、自分たちで仕上げたボリュームのある「ライスバーガー」を「美味しい！」と嬉しそうにかぶりつき、また、余った「ライスバーガー」を争奪するじゃんけん大会が行われるなど、笑顔が溢れた賑やかな食事となりました。

この活動は、管内の農作物を使用することで、邑智郡の魅力と農業について発信し地域に貢献するとともに、おいしさを伝える食育にも寄与しています。



7/6

羽須美中学校農業 体験

ＪＡしまね島根おおち地区本部は、管内の邑南町立羽須美中学校１年生１５名を対象に農業体験を行いました。この学習は、地域農業に関する学習や栽培活動、農業体験を通して、農業の魅力や役割、課題について理解を深め、地域におけるこれからの農業のあり方を主体的に考えることを目的としたものです。

当日は、管内の生産者へ出向いて、なす、ピーマン、キュウリの出荷調整作業を体験し、生産者から規格の分け方や袋の詰め方などを教えてもらいました。その後、ＪＡの役割などの研修を行い、阿須那集荷場や原村の邑南町農林水産物集出荷貯蔵施設で、集荷された野菜の分荷から市場へ出荷されるまでを学習しました。

参加した生徒からは「出荷されるまでに、こんなに選別されているのは驚いた」「ＪＡの役割が理解できた」などの感想が聞かれ、農業への関心を深める機会となりました。



7/10

ガスエンジン発電機を寄贈

島根おおち地区本部は、「JA共済地域・農業活性化施策助成金」を活用し、邑南町へガスエンジン発電機を寄贈しました。今回の寄贈は、旧7市町村単位で計7台を順次贈る取り組みの一環で、昨年までに管内4市町へ6台が寄贈済みで、残る1台を邑南町へ寄贈しました。

近年、全国的に大規模な自然災害や地震が多発していることや、各地で線状降水帯が発生し甚大な被害をもたらしている状況を受け、管内各市町でも防災対策の強化が重要となっています。当地区本部の曾根貫富農経済部長は「万一の備えの一助になれば」と話し、邑南町の大屋光宏町長は「このような緊急時に使用できるものはありがたい」と答えました。

寄贈したガスエンジン発電機は、家庭用カセットボンベのガスを燃料とし、取り扱いが簡単で、緊急時にも容易に使用できるものです。

JA共済の
地域貢献活動



7/14

地域の伝統芸能を担う「高校生神楽」を応援

島根おおち地区本部とJA共済連島根は、7月25日・26日の両日に広島県安芸高田市で開催された「第15回高校生の神楽甲子園」に出場した、島根県立矢上高等学校の神楽愛好会に協賛金を贈呈しました。

贈呈式は矢上高校で行われ、当地区本部の天川昌幸統括支店長が、神楽愛好会代表の渡部悠介さんへ激励の言葉とともに目録を手渡しました。渡部さんは「撮影した動画を見ながら、課題を出して話し合いながら質を高めた。大会では演目「山姥」を披露する。たくさんの人に喜んでもらえるように舞いたい」と力強く話していました。



7/15

ゆとり倶楽部 第3回講座「ランタン作り」

島根おおち地区本部は、ゆとり倶楽部第3回講座「ランタン作り」を行いました。家の光講師の影山和美さんを迎えて、石州勝地半紙という管内で作られた和紙を地元のグループが草木染したものを飾り付けに使用して、「家の光」記事からランタンを作りました。

小さきまぎまな大きさに膨らんだ風船に半紙を貼り付けていき、3から5層に好みで貼り、飾りには、石州勝地半紙を好みの柄に切り取り、内から外へ糊を塗って貼り付けて仕上げました。影山先生は「あまり重ならないように貼っていくことがコツだ」と説明しました。参加者は、周りの人と会話を楽しんできましたが、途中からは会話もなくなり、真剣な表情でランタン作りに取り組んでいました。

ランタン作りは、講座中に出来上がらずに持ち帰る参加者もいましたが「とても楽しかった」「きれいにできた」などの声が聞かれました。

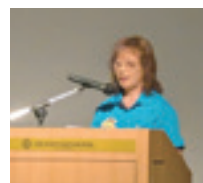


7/23・24

令和8年度中四国地区JA女性組織リーダー研修会

島根おおち女性部（森光美佐子部長）は、徳島県で行われた中四国地区JA女性組織リーダー研修会に参加し、森光部長が島根県を代表して「魅力発見！邑智郡農業・塾で活動エリアを拡大」継続から一歩踏み出した新たな出会い」と題して、地元矢上高校産業技術科1年生に対し、「ライスバーガー」を提供する取り組みを活動事例として発表しました。

惜しくも全国大会への出場は叶いませんでしたが、取り組み内容について講評の中で高評価をいただきました。島根おおち女性部はこれからも関係機関と連携し食農教育などに積極的に取り組んでいきます。



水稻

コンバイン・乾燥調整機の点検と掃除について

間もなく収穫期を迎えるにあたり、コンバインや乾燥調整機類の点検と掃除を実施しましょう。掃除が十分出来ていないと、異物、異品種、コクゾウムシ・メイガなどの貯蔵害虫が玄米に混入する恐れがありますので必ず掃除を行って下さい。

収穫・調整

出穂してから約40日前後で稲刈りとなります。近年では、高温の影響により収穫時期が早まっておりますので刈り遅れとならないよう注意しましょう。

※収穫目安については右の二次元コードから



収穫・乾燥・調整の注意点として

1. 雨や雨降り直後、朝露のある状態での収穫は避ける。
2. 生籾をコンバイン袋に入れたまま長時間放置しない（ヤケ米の発生）。
3. 乾燥機へ搬入後、本乾燥を行うまでは通風で管理し乾燥機内のムレを防止する。
4. 籾摺り機のロール間隔を調整し、籾の混入、肌ずれ粒を起こさないよう注意する。
5. 網目は、うるち米（コシヒカリ・きぬむすめ・つや姫）は1.9mm
うるち米（つきあかり）、もち米1.85mm又は1.9mm、酒米2.0mmとする。
6. 米袋の皆掛け重量は30.5kgとなる。

※乾燥の際には、過乾燥とならないよう十分に注意をして下さい！

米のトレーサビリティ（生産履歴OCR）の提出について

生産履歴が確認された米について「JASまね米」として区分販売がこなわれます。

生産履歴の記帳を必ず実施し、履歴の提出をお願いします。

- ① 生産履歴OCRを配布しております。（7月外勤日）
- ② 生産履歴OCRを米の出荷5日前までにJAに提出して下さい。
（ライスセンターを利用される方は、もみの受入れ前には、提出して下さい。）

- 重点品目野菜について病害虫の予防の徹底を図りましょう！ -

農薬散布される前には必ず防除日誌を確認し、使用回数等使用基準を厳守！

白ねぎ

※ボトリチス葉枯症・さび病は、出荷する葉にも影響がありますので防除の徹底をお願いします。
ネギの土寄せは最高気温が30℃を下回る時期になって行って下さい！（軟腐対策）

ナス

※褐色腐敗病は昨年発生しております！
収穫時には気がつかないで予防を必ずしてください！！

ミニトマト

※単価が高い9月出荷にむけ、トマトトーンの使用（200倍液）を丁寧に行いましょう。
※気温が低下し、日射が弱まる気候になったら「遮光資材」を取り除きましょう。
※10日に1回はカキパック等（500倍液）のカルシウム剤の散布をしましょう。

ピーマン

※雨が多い時期はヘタの部分の傷みに注意して出荷をお願いします。
※10日に1回はカキパック等（500倍液）のカルシウム剤の散布をしましょう。

広島菜【8月下旬～9月上旬定植】

「定植の適期は播種後20日!!」定植が遅くならないよう圃場準備は早めに
定植時にネキリムシ・根こぶ病の対策を忘れずに！！



ボトリチス葉枯症



さび病



根こぶ病



褐色腐敗病

散布については、使用時期、使用方法を守り、予防的防除を心がけましょう。詳しくは、営農指導員へご相談下さい。また、右記二次元コードからJAしまね島根おちのホームページからでも確認が出来ます。



夏の農機展示会&ミニアグリミーティング開催！

JA 全農島根農機サポート株式会社と島根おおち地区本部は、邑南町矢上の JA 全農農機サポート株式会社島根おおち営業所で「夏の農機展示会&ミニアグリミーティング」を開催しました。この催しは、当地区本部TACと同会社が企画し、生産現場の課題解決に向けて、営農、農業機械の新技术を中心とした情報発信を目的に実施しました。

会場には農業機械の自動操縦システムや、ICT(情報通信技術)を用いた捕獲器、スマホでほ場の状況を確認できるシステムなど、省力化につながる資材のブースを多数設け、来場した皆さまは熱心に説明を受けていました。今回の展示会では、約200名の組合員、利用者の皆さまにご来場をいただき、今回のミニアグリミーティングの副題である「持続可能な農業の取り組みの提案」を行いました。

当地区本部では、農機サポートや関係機関と連携し、今後も生産者の皆さまに最新技術の情報を提供していきます。



令和8年度 TACかわら版 8月

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

TACから一言 農作業事故ゼロを意識しましょう。 JAしまね 営農企画課 TAC担当 原本 篤志

「いのちをうばう、夏のひとり作業」～一人ひとりの「大丈夫？」が、命を守ります～

農作業中の熱中症等による死亡者は、7月～8月にかけて多く発生しています。

熱中症事故は、周りの人がお互いに気を配り、声をかけ合うことで、防げる可能性があります。自身の体調・周囲の人の体調を気にしながら作業をしましょう。

声かけ活動のポイント

家族で

作業前後だけでなく、作業中もこまめなコミュニケーションを

- ☐ 「水分、持った？」
- ☐ 「体調が悪くなったなら、すぐに連絡して」

職場で

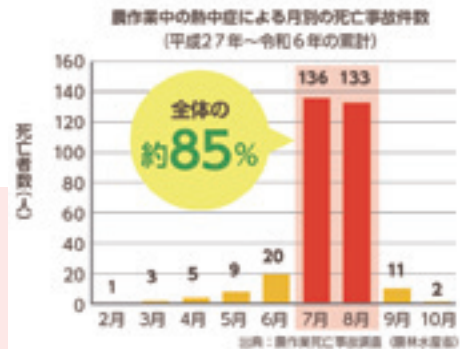
その日の体調や暑さに応じて柔軟な声かけを

- ☐ 「顔色わるいよ、休憩しよう」
- ☐ 「WBGT値が高いから、暑は作業を中断しよう」

地域全体で

顔を合わせたら、まず一声声かけを

- ☐ 「今日は熱中症警戒アラートが出てるよ」
- ☐ 「夏は疲れやすいから、高い所も気をつけて」



農林水産省補助事業（農業安全総合対策推進）にて作成
制作事務：一般社団法人日本農業機械化協会



和牛情報

Wagyu Information

令和8年7月の島根中央子牛市場平均価格は雌798,872円で前月比10,492円下ば、去勢885,347円で前月比6,077円下ば、市場平均844,430円で前月比9,471円下ばとなりましたが、依然高値で取引されています。

島根県（中国地方）において7月8日に梅雨明けが発表されました。以前、高温多湿の日が続いています。夏時期の子牛の下痢は、脱水症状を引き起こす要因になるため、下痢予防を行い、牛が水分補給をいつでも行える環境を作りましょう。また、日々の観察を徹底し早期発見・早期治療に心がけ、今後も発育良好で腹作りの出来た購買者に好まれる子牛上場に努めましょう。

令和8年7月15日子牛市場成績表

		頭数	最高価格(円/税込)	平均価格(円/税込)	平均体重(kg)	平均kg単価(円)	平均日齢
中央	メ ス	97	1,054,900	798,872	291	2,747	283
	ヌ キ	108	1,156,100	885,347	318	2,783	281
	合 計	205		844,430	305	2,767	282
管内	メ ス	14	882,200	821,936	296	2,775	284
	ヌ キ	16	1,047,200	913,894	333	2,747	288
	合 計	30		870,980	316	2,759	286

女性部が行く

フレミズ部会「水ようかん作り・フレイル予防」開催

7/12

島根おおちフレッシュミドルミズ部会幸せのたねたんぼぼ（村上ユリ部会長）は、中野団地センターで「水ようかん作り・フレイル予防」を行いました。

森脇美也子副部会長を講師に簡単に作れる水ようかんを作り、「本当に簡単！甘さも足さずにあんの甘さだけ」と説明を受けながら素早く仕上げました。また、宮本昭枝さんを講師に「家の光」の記事から「ローズマリーウォーター」と「ローズマリーオイル」を一緒に作り、オイルは各自持ち帰りました。

水ようかんが固まるまでの間、「家の光」のJAサテライトプラスからフレイル予防講座を行いました。今回は、足を中心にテニスボールやバンドなどを用いて運動しました。テニスボールを足裏に当てて転がすと「結構痛い！」「足が軽くなった」などの声がし、バンドは「加減が解らない…」「どっち向きで足に当てるの？」などと、とまどいの声も聞かれました。

約1時間の講座を終えて、固まった水ようかんは、体を動かした後の水分補給と心身をリフレッシュしてくれるローズマリーウォーターと一緒に楽しみました。



JA役職員・女性部員統一行動おもてなしプロジェクト

6/30

島根おおち女性部桜江支部（坂根弥生支部長）は、部員が作った作品を持ち寄って展示を行いました。来店された方から「素敵な作品が並びましたね」「見ていて飽きない」と声をかけられ、坂根支部長は「作品を見てもらう良い機会。制作意欲につながる」と話しました。今回の川戸地区の展示から2カ月毎に担当地区が変わり、新しい作品ができた時点でも展示内容が変わりますのでお楽しみください。



瑞穂支部 料理教室

7/16

島根おおち女性部瑞穂支部（住金末子支部長）は、夏本番を迎えスタミナをつけるための料理を学ぼう！と「家の光」の記事を参考に料理教室を行いました。当日は部員11名が参加し、住金支部長は「しっかり学んで、家で作ってみよう」とあいさつしました。事務局がレシピについて簡単に説明したあと、2班に分かれて5品の調理を開始しました。部員は、テキパキと作業を行いながらも「新じゃがとか玉ねぎとか旬がたくさん」「カレー焼き飯珍しい。食欲をそそるいい匂い」などの会話が聞かれました。

皆さんの手際が良くて12時頃の出来上がり予定が、11時過ぎには出来上がり、試食では「家でも試してみよう」「すごいボリューム！」などの感想が聞かれました。



大切なお知らせ

農業者・女性部健診 追加募集について

農業者と女性部のための"特別な健診"

申込を6月末締切としておりましたが、定員に若干空きがありますので、追加で募集をいたします。

- 日 時：12月18日（金）
- 定 員：80名
- 会 場：矢上交流センター（邑南町矢上）
- 対象者：農業に従事する方およびその家族/JAしまね女性部加入者およびその家族
- 申込方法：お近くのJA各支店に置いてある申込書にご記入のうえお申込みください。

※健診内容等について詳しくは申込書をご確認ください。

申 込 締 切

9月30日（水）

葬祭センターよりお知らせ

組合員・利用者の皆さまには日頃より JA 各事業および、葬祭センター事業をご利用いただき厚く御礼申し上げます。

さて、コンプライアンスのさらなる強化及び事故防止の観点から以下の期日より葬祭事業における現金取扱を廃止させていただくことになりました。組合員・利用者の皆さまにおかれましては、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

廃止時期 令和 8 年 8 月 3 1 日（月）

今後のお支払いについて

- ・当組合各支店でのお支払い
- ・当組合口座へのお振込み
- ・クレジット決済（葬祭センターのみ取扱い）

人事異動のお知らせ

採用【令和 8 年 7 月 8 日付】

新部署・役職	氏 名	備考	出身組織	職員区分
営農経済部 畜産課 食肉加工センター	和田 ちずる		島根おおち	有期雇用

お便り紹介



今月も皆さんからのおたよりがたくさん届いています。ありがとうございます。
その他、JA に対するご意見・ご要望などお寄せください。

★ 農作物づくりに励んでおられる方々の紹介を毎回楽しみにしています。読ませてもらうと元気をもらいます。

桜江支店管内 H さん 70 代

★ 皆さん、作業に誇りを持っておられるのがすごく伝わりますよね ☺ 暑さが続きます。皆さまには体調に気を付けていただきたいですね。

★ 抜粋～ トピックスや他の記事に付いている写真がもう少し大きいほうが。

石見支店管内 O さん 70 代

★ ご意見いただきありがとうございます。各行事の雰囲気を感じていただくことを目的に全体風景の構成としております。ご理解をお願いします。

9月の行事予定

9月の外勤日

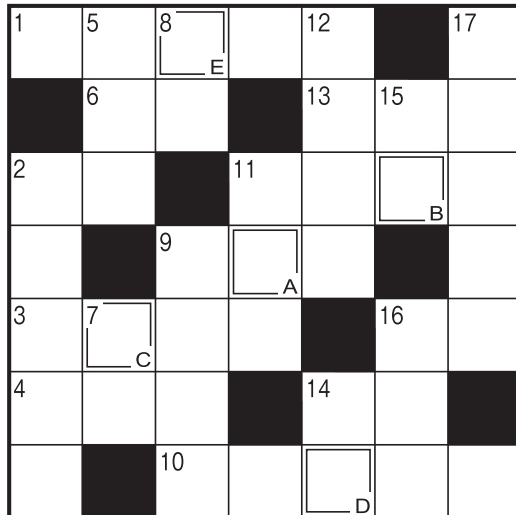
16日（水）・17日（木）・18日（金）





二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ② ススキや月見団子を供える行事
- ⑤ ブドウを使って仕込む酒
- ⑦ エックスとゼットのあいだ
- ⑧ カミの反対
- ⑨ 北海道の市。監獄があったことで有名
- ⑪ 悪いものが入っていないか、先に食べて証明します
- ⑫ 高橋真梨子のヒット曲『——吐息』
- ⑭ 羊の肉はマトン。子羊の肉は
- ⑮ 落花生にはタンパク——も豊富に含まれます
- ⑯ 鹿児島県の桜島は活発に繰り返しています
- ⑰ はえば立て、立てば歩めの——

ヨコのカギ

- ① 秋らしい風情の雲。魚の名前がつきます
- ② 天・地・——
- ③ 大酒飲みのこと
- ④ 先手が黒、後手が白を使います
- ⑥ さつま、里、こんにやくといえ
- ⑨ でこぼこの進みづらい道のこと
- ⑩ 音楽にのれる人に備わっているもの
- ⑪ アルバイト、グミ、カルテといった言葉の元はこれ
- ⑬ 形態——はものまねの一種
- ⑭ サギソウもデンドロビウムもこの仲間
- ⑰ ゆっくりつかって疲れを取り

応募要項

応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



賞品

正解者の中から抽選で30名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

宛先・締切

〒696-0222 邑智郡邑南町下田所277

JAしまね 島根おおち地区本部 企画総務部 「クイズ」係

2026年9月4日（金）（当日消印有効）

先月号の答え

「コウセン」



川柳の広場

最優秀賞

世の中を分かったつもり今日を生き

隠岐の島町 上川 晃一様

優秀賞

炎天下水と覚悟を連れて出る

出雲市 櫛井 伸幸様

佳作

少年の日の思い出や鰻釣り

兵庫県 小田 慶喜様

八十路坂欲を味方に動く足
つつがなく過ぎしひと日に安堵する
生きていく証だ今朝の水美味い
ちっぽけな悩みと気づく広い空
長寿とはほどよき酒とよき笑顔

出雲市 坂本ヤヨイ様
益田市 竹田 和子様
出雲市 佐野美和子様
出雲市 北村 功様
雲南市 飯塚 保春様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」9月号定価 900円

ご購入はお近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい広報課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



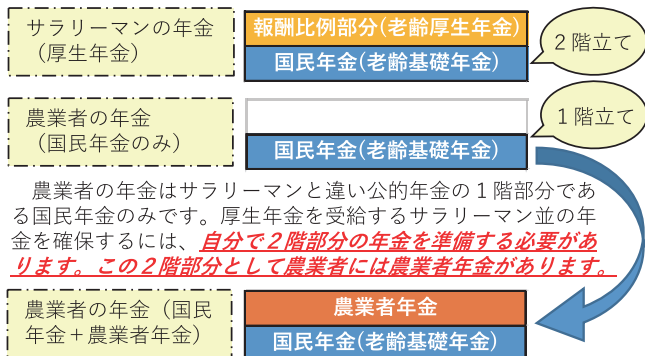
最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

知らないと損！ 農業者年金の税金対策と保険料補助



まず農業者年金ってなに？



でも…加入する条件があるんでしょ？

農業者年金 には…

国民年金
第1号
被保険者
国民年金保険料
納付免除者を除く

年間60日以上
農業に従事

65歳未満
60歳～65歳未満の
方は、国民年金任
意加入被保険者に
限ります。

の方なら **どなたでも** 加入できます。

農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。



今年は豊作で収入が良かったな…
だけど税金が多くなるのでは…
なにか節税対策はないかな？

前納すれば翌年1年間の保険料も **全額社会保険料控除** に使える！

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その合計額（最高保険料6万7千円の場合は3人分で241万2千円）が経営主の所得から控除できます。

農業者の担い手には、保険料の国庫補助があります。

保険料の国庫補助 を受けるには…

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、

- **39歳までに加入**
- **農業所得が900万円以下**
- **下記の農業者の担い手要件** を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者、後継者 など

月額最大1万円の保険料補助

詳しい内容のお問合せは…

お近くの農業委員会・JAへ！！

ハチを見かけたら巣づくり警報！

無料調査

ハチ
駆除

近寄らず、触らず！！

ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店に
お問い合わせください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(鳥根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

■本社/鳥根県松江市西塚島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所/☎0852-26-6757 ■出雲営業所/☎0853-31-9600

■益田営業所/☎0856-22-5390 ■江津出張所/☎0855-52-6852

■隠岐営業所/☎08512-2-2471



島根うまれの食材レシピしまねうレシピ

ズッキーニのマリネ

材料（4人分）

ズッキーニ……………400g
 オリーブ油……………大さじ1
 塩こしょう……………少々
 玉ねぎ……………1個（300g）
 ピーマン…4～5本（50g）
 A かんたん酢……………100cc
 薄口醤油……………大さじ1
 粗びき黒胡椒……………少々

コメント

- ・油控えてヘルシーなのに、コクがあって大満足の一品です！
- ・大きく育ってしまったズッキーニでも食べやすく、日持ちもするお助け副菜。

作り方

- ①玉ねぎは薄くスライスする。辛みが気になる場合は水にさらすか、しばらく空気にさらし辛みを取る。
- ②ボウルにAの調味料を混ぜ合わせ、①の玉ねぎを加えてひと混ぜする。
- ③ズッキーニを厚さ1cmの輪切り又は半月切りにする。
- ④フライパンにオリーブ油を熱し、ズッキーニを並べ入れ、塩こしょうを振る。焼き色がついたら裏返し、好みの硬さに焼く。
- ⑤ズッキーニが熱いうちに、②のボウルに浸す。
- ⑥薄くスライスしたピーマンも加え、ひと混ぜする。



アレンジ

- ・タコやエビ、サーモン、ちりめんじゃこなどシーフードを足すと、バリエーションが広がります。
- ・野菜は茄子、人参、南瓜、長ネギ等を焼いて入れたり、トマト、アボカド、きゅうり等をひと口大に切って入れたり、いろいろな野菜の組み合わせが楽しめます。

トマ玉丼

材料（4人分）

トマト……………3個（500g）
 玉ねぎ……………1個（250g）
 オクラ……………4本
 豆腐……………150g
 卵……………3個
 水……………300cc
 A 砂糖……………大さじ1
 みりん……………大さじ1
 醤油……………大さじ3
 天かす……………大さじ4～
 ごはん……………4杯分

コメント

- ・豆腐と卵でプロテインもしっかりチャージ！お肉なしでも大満足のスピード夏丼。
- ・だいりす！完熟トマトの天然の旨味と酸味が広がる夏の食欲回復に役立！

作り方

- ①トマトはヘタを取り、ひと口大に切る（お好みで湯むきにして皮を取る）。玉ねぎは縦半分に切って、5ミリ幅の薄切りにする。豆腐は1.5cm角に切る。オクラは板ずりして3ミリの厚さの輪切りにする。
- ②鍋にトマトと玉ねぎ、分量の水を入れて火にかけ、沸騰したら中火にし、玉ねぎに火を通す。
- ③②に豆腐とAを加え、再び沸騰したらオクラと溶き卵を回し入れ、ざっと混ぜて半熟のうちに火を止める。
- ④器に盛ったご飯の上に、③をかけ、天かすを振りかける。



アレンジ

- ・材料をオリーブ油で炒め、ピザ用チーズを加えて塩こしょうで味付けすればイタリアン丼に！
- ・豆腐を豚肉・牛肉・鶏肉に代えて、スタミナアップ！味付けは焼肉のたれでOK！

健康散歩
For Your Health

トイレが近くて困っていませんか？

JA島根厚生連

日中にトイレへ行く回数が多くて困っていませんか？

一般的に、成人の排尿回数は1日に5～7回程度とされており、排尿後に次の尿意を感じるまでは3～5時間程度かかるといわれています。一方で、尿意を感じる間隔が短くなり、排尿が1日に8回以上みられる場合は「頻尿」にあたるとされています。ただし排尿回数には個人差があり、回数がそれほど多くなくてもご自身が「トイレが近くて困る」と感じている場合には、頻尿として対応が必要なものもあります。

頻尿の原因には、次のようなものがあります。

■ 過活動膀胱

膀胱が過敏になり、尿が十分に溜まっていなくても膀胱が勝手に収縮してしまう病気です。急に強い尿意が起こり、トイレの回数が増えます。

■ 前立腺肥大

前立腺が大きくなることで尿道が圧迫され、尿が出にくくなります。排尿後もすっきりしない感じ（残尿感）があり、



何度もトイレに行きたくなることがあります。

■ 加齢・妊娠・出産

加齢や妊娠、出産によって膀胱や骨盤周囲の筋力が低下すると、一度に膀胱にためられる尿の量が減り、頻尿につながることがあります。

■ 膀胱炎

細菌が膀胱に入り炎症が起こることで、膀胱が刺激を受けやすくなります。そのため、尿があまり溜まっていなくても尿意を感じ、頻尿にトイレへ行くようになります。

頻尿は、原因に応じた治療や対策によって改善が期待できます。「トイレが近くて困る」、「夜中に何度も起きて眠れない」、「外出時にトイレが気になってしまう」など、日常生活に支障がある場合は、早めにかかりつけ医や泌尿器科に相談しましょう。



【編集後記】島根米の新品種の名称が「つぶきらり」に決まりました！試食をさせていただく機会がありましたが、その名が表す通り大粒で美しく、一口だけでしたがとても美味しかったです！再来年から本格的に栽培が始まるとのこと。本誌でもしっかりPRしながら、楽しみに待ちたいと思います！（児）